

Registry of contemporary medical management of chronic heart failure with non-reduced ejection fraction in Japan
–The PARACLETE study–

研究の背景と目的

心不全は高齢化に伴い有病率が世界的に増加している。LVEF が低下している心不全 (HF_rEF) に対してはガイドラインでも治療法が明記されている。しかしその一方で、LVEF が保たれている心不全 (HF_pEF) と LVEF がある程度保たれている心不全 (HF_{mr}EF) からなる、駆出率が低下していない心不全 (HF_{non-r}EF) の治療戦略は、今日でもまだ確立していない。最近、ARNI および SGLT2 阻害薬が HF_{non-r}EF の予後を改善することが示されたことから、治療戦略は今後変化することが予想される。しかし、慢性の安定した HF_{non-r}EF や新たに診断された早期の HF_{non-r}EF を対象にしたレジストリー研究はない。本研究では、安定した、または新たに診断された HF_{non-r}EF の患者の登録を行い、循環器専門医がどのような症状や徴候に基づいて治療を開始または強化するのか、または薬物の変更を含むどの要因が長期予後に影響を与えているのかなどを明らかにすることを目的とする。本研究から得られるエビデンスは、循環器専門医だけでなく、早期の HF_{non-r}EF の診療の質の向上につながる事が期待できる。

研究デザイン

日本全国から 4,200 例の LVEF が 40%より高い慢性 non-rEF 患者を登録し、登録時の患者背景情報を収集する。その後さらに 2 年間の追跡調査を行う前向き観察研究